

オンライン研究集会

教科書的環境教育論を鵜呑みにせず 自分の頭で「環境教育とは何か」 を考えること

1990年代後半から、環境教育は「持続可能な社会の構築をめざす教育である」とか、「持続可能性のための教育（EfS：Education for Sustainability）」、「持続可能な開発のための教育（ESD：Education for Sustainable Development）の（主要な）要素（の1つ）」などと言われてきた。今日、学習指導要領前文に「持続可能な社会の創り手となること」と記されるに至り、「環境教育＝持続可能な社会のための教育」という教科書的環境教育論が一般化していると言っても過言ではないだろう。

一方、最近の環境教育関係者を見ると、教科書的環境教育論を無批判に受け入れ、「環境教育とは何か」を主体的に考えようとすることなく、環境教育の本質を自分なりに定位しようとする努力を放棄しているように感じられる。教科書的理解が良くないと言うのではない。無批判に受け入れること、あるいは無批判に受け入れさせようとすることは、環境教育から最もかけ離れていると考える。というのは、これらが批判的精神・思考の欠如という「持続『不可能』な社会」の構成基盤につながると考えるからである。

今回の研究会は、岐阜大学の今村光章氏にご登壇いただき、参加者が「環境教育＝持続可能な社会のための教育」という教科書的環境教育論をとらえ直す契機となることを期待して企画した。合わせて、今年1月の第5回関西環境教育合同研究大会「親しむ・知る・まもる 環境教育のその先はいかにあるべきかー自然保護教育、公害教育、気候危機教育を事例としてー」で宿題とされたいくつかの課題について、今村氏のご意見を伺うとともに参加者と議論を深められればと考える。

2022.7.23 **土** 13:30～15:30

■プログラム

13:20	開 場		
13:30	開会挨拶	水山 光春 氏	関西支部長 京都橘大学
13:35	企画趣旨	市川 智史 氏	滋賀大学
13:40	話題提供	今村 光章 氏	岐阜大学
14:10	話題提供への質疑		
14:20	休 憩		
14:30	質疑応答・ディスカッション		
15:30	総括・閉会挨拶		

■参加お申込み方法

事前申込み制

メールの件名に「関西支部オンライン研究集会 参加希望」と明記の上、下記のメールアドレス宛に①お名前、②登録用メールアドレスを記入し、お申込みください（7月21日（木）23:59 締切）。

✉ jsoe.kansaichapter@gmail.com

■開催方法（Zoomミーティング）

参加お申込みされた方に、メールでミーティングURL、ミーティングID、パスコードを前日までにお知らせいたします。当日の9時までに受信確認できない場合はメールにてご連絡をお願いいたします。

ご自身のPC、タブレット、スマートフォンからインターネット接続でご参加ください。使用機器のウェブカメラ（内蔵または外部）、マイク、スピーカーが接続されているかどうかをご確認の上、ご参加ください。